

日本体育図書館協議会 第8回研修会

スポーツボランティアの現状と課題 ～2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて～

2018年11月9日

笹川スポーツ財団 主席研究員 渋谷茂樹

日本スポーツボランティアネットワーク講師

ボランティアとは？

1. ボランティアの定義

個人の自由意志に基づき、その技能や時間等を進んで提供し、社会に貢献すること

(文部省 生涯学習審議会,1992)

2. ボランティアの基本理念

1) 自主性 (自発性)

2) 公益性 (社会性、公共性)

3) 無償性

4) 先駆性 (先見性、創造性、開拓性)

5) 継続性

(日本スポーツボランティア学会,2008)

スポーツボランティアとは？

■スポーツボランティアの定義

1. 地域社会やスポーツ団体・クラブ、各種スポーツイベントなどにおいて、個人の自由意志に基づき、その技能や時間などを進んで提供し、社会に貢献する活動（文部省,2000）
2. 「スポーツ」という文化の発展のために、金銭的報酬を期待することなく、自ら進んでスポーツ活動を支援する人のこと
（日本スポーツボランティア・アソシエーション,2004）

スポーツボランティアの活動分類

1. イベントボランティア

地域スポーツ大会から全国・国際的スポーツ大会までの運営に関わる活動（不定期、非日常的）

2. クラブ・団体ボランティア

地域のスポーツクラブでの指導、クラブ・スポーツ団体の運営やその補助（定期的、日常的）

3. アスリートボランティア

トップアスリート（元アスリートを含む）による社会貢献活動

スポーツボランティアの統計

■ 18歳以上のスポーツボランティア実施率

6.7% (2016年)

1990年代から7~8%で推移

- 性別：男性 8.1% > 女性 5.4%
- 年代別：18,19歳 9.5%、40代 9.3%
20代 5.1%、70歳以上 3.9%
- 職業別：自営業（農林漁業、商工サービス業以外） 12.5%
学生 11.7%、管理職 8.8%
無職 5.4%、専業主婦・主夫 4.0%

スポーツボランティアの統計

■スポーツボランティア（18歳以上）実施状況とニーズ

スポーツボランティアの内容		実施率 (%)	実施回数 (回/年)	実施 希望率 (%)	実施希望率 －実施率 (ポイント)
日常的な活動	スポーツの指導	29.7	43.1	23.6	-6.1
	スポーツの審判	22.8	10.6	14.2	-8.6
	団体・クラブの運営や世話	35.6	28.5	26.7	-8.9
	スポーツ施設の管理の手伝い	9.9	12.4	17.8	7.9
地域の スポーツイベント	スポーツの審判	15.8	7.5	10.8	-5.0
	大会・イベントの運営や世話	49.5	2.7	54.7	5.2
全国・国際的 スポーツイベント	スポーツの審判	2.0	1.7	3.6	1.6
	大会・イベントの運営や世話	6.4	3.2	15.4	9.0

笹川スポーツ財団「スポーツライフ・データ（2016）」

イベントボランティアの事例報告

平昌オリンピック・パラリンピック

■調査期間と視察内容

- オリンピック：2月21～26日
スピードスケート、フィギュアスケート、アイスホッケー（江陵）、
スキークロス（普光）、アルパンスキー混合団体（龍平）、
閉会式（平昌）
- パラリンピック：3月8～12日
開会式（平昌）、
アイスホッケー（江陵）、アルパンスキー・スーパー大回転（チョソツ）、
クロスカントリースキー（アルパソツア）

文献調査による事前情報

1. ボランティア募集人数

22,400名：オリ16,000名、パラ6,400名
7分野17職種

2. 応募者数

91,656名：女性が8割、24歳以下が8割
12,547名の外国人
→書類選考で43,920名に絞り面接

3. 研修会

ボランティアの共通研修は2日間
2017年4～7月、全国38カ所で開催

東京2020大会への示唆

1. ボランティアがチームで力を発揮する視点

スーパーバイザー⇔チームリーダー
⇔チームメンバーの階層の在り方

2. 外国語への対応

多言語のサイン、最低限の英文スク립ト不在

3. 障害者等への対応

会場や個人により不統一な対応

⇒全体・会場別・役割別研修での統一の必要性

4. その他

ボランティアの防寒対策：2020は熱中症対策

東京2020大会のボランティア

Games Volunteer

大会ボランティア



[大会ボランティア 詳細はこちら](#) >



TOKYO 2020 組織委員会 

City Volunteer

都市ボランティア



[東京都の都市ボランティア 詳細はこちら](#) >

[全国の都市ボランティア 詳細はこちら](#) >

日本財団ボランティアサポートセンターウェブサイト

大会ボランティアを8万人、都市ボランティア（東京）を3万人募集：9月26日～12月上旬（「都市ボラ」は5日）

大会ボランティアと都市ボランティア

1) 大会ボランティア

活動内容：

競技会場や選手の生活ベースとなる選手村、その他関連施設等で、観客サービスや競技運営のサポート、メディアのサポートなど、大会運営に直接携わる活動

運営主体：大会組織委員会

募集人数：8万人

活動日数：10日以上を基本

休憩、待機時間を含み1日8時間程度

応募可能な方：

- 2002年4月1日以前に生まれた方
- 日本国籍を有する方
又は日本に滞在する資格を有する方

大会ボランティアと都市ボランティア

2) 都市ボランティア

活動内容：

空港、主要駅、観光地などでの国内外からの旅行者に対する観光・交通案内

運営主体：競技会場が所在する自治体

募集人数：会場ごとの募集（東京は3万人※） ※一般公募は2万人

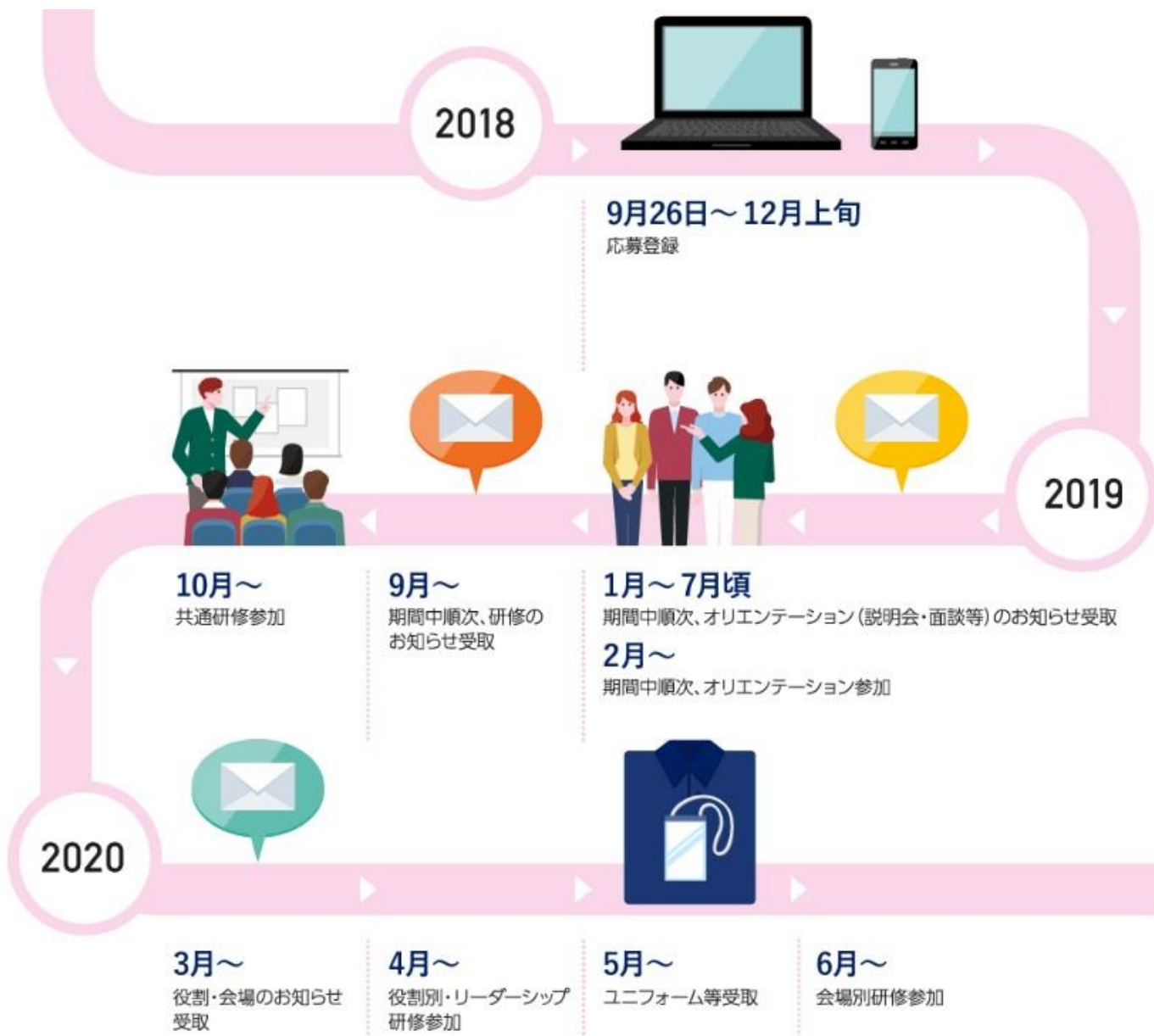
活動日数：会場により異なる（東京は5日以上）

活動時間は休憩を含み1日5時間程度

応募可能な方：

- 2002年4月1日以前に生まれた方
- 日本国籍を有する方
又は日本に滞在する資格を有する方
- 日本語による簡単な会話ができる方

ボランティアの応募から参加まで



ボランティア応募状況_途中経過

募集開始から約1ヵ月での応募状況

大会ボランティア：10月22日時点

応募完了者数：52,249人（募集人数の約65%）

参考）大会ボランティアマイページ登録者数：92,920人

都市ボランティア（東京）：10月23日時点

応募件数：6,012人（募集人数※の約30%）

※一般公募の人数は「20,000人程度」



定員を上回る応募になりそう
（特に大会ボラは「狭き門」に？）

大規模国際大会は2020だけではない

■ゴールデンスポーツイヤーズのボランティア

1) ラグビーワールドカップ2019

1万人

2) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

8万人（大会ボランティア）、3万人（東京の都市ボランティア）

3) ワールドマスターズゲームズ2021関西

のべ6万人



すべての大会で多くのボランティアが活躍

大規模国際大会の「レガシー」として

■ソフトレガシーとしてのボランティア

【目標】

大規模国際大会を契機に、地域のスポーツイベントや日常のスポーツボランティア、スポーツ以外のボランティアに参画する人を「発掘」「育成」し、「定着」させること



ボランティアマインドを大会のレガシーに